

スマイルまなづる 139号

真鶴町立まなづる小学校
令和6年度学校だより
4月30日(火)

学校教育目標

「考える 関わる 創りだす」

～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



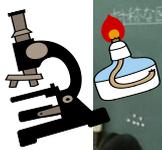
今年度もどうぞよろしくお願ひいたします

今年度の取り組み⑤「教科担任制（担任以外の先生方との学習）」

令和6年度がはじまって3週間が経ちました。子供たちは、教室もかわり、新しい学年となったことを感じながら、毎日いろいろなことにチャレンジしています。一人ではできないことやわからないことも友達と考え関わりながら解決しています。

まなづる小の子供たちには、その子しかない輝くものをたくさんもっています。その輝きを全職員で引き出していきたいと考えており、その一方策とするのが「教科担任制」です。教科担任制には様々なメリットがあり、その最も大きなメリットは、多面的に子供たちを見ることができ、子供たち一人一人への理解が深まることです。また、先生方の専門的な部分や得意分野を生かしていくため、わかりやすい授業につながっていきます。この体制づくりには、町の教育委員会からも大きなサポートをいただいています。

【教科担任となる教科】



(佐々木先生)

3・5・6年【算数】
4年(2クラス)【理科】

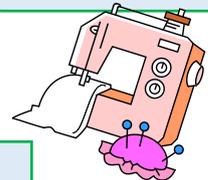


【音楽】(平井先生)
3・5・6年



【外国語5・6年】
【外国語活動3・4年】
(新井先生)

【家庭科】
5・6年生
(鈴木満喜子先生)



【交換授業】

◎5・6年生・・・5年担任の古本先生が社会、
6年担任の渡邊先生が理科を担当します。
(高学年の担任2人が2学年に関わります。)

◎4年生・・・1組の増田先生が体育、
2組の若月先生が音楽を
ひまわり3組の森先生が図工を
担当します。

お腹を使って
息をはきます



<本校のホームページについて>

給食や学校の活動の様子について随時お伝えしています。
昨年度の6年生が作成した「真鶴町の魅力パンフレット」
もアップしています。ぜひご覧ください!

<活動中止の判断について>



本校では、校内・校外の学習活動を実施するかどうかについて、環境省が作成している「暑さ指数（WBGT）」を基準にして判断していきます。温暖化に伴い、1学期から気温の高い日があることが想定されます。運動場における活動に加え、校外学習や外で行う活動（運動会の練習やまなづる自然教室、野外活動クラブなど）について、次の状況となった場合においては

原則、実施せず、子供たちの命を守ることを優先

にしたいと考えます。

- 活動場所における暑さ指数（WBGT）が「危険」（指数31以上）
- 熱中症アラート（特別警戒・警戒）の発令
- 活動できないほどの悪天候・2つ以上の注意報の発令

暑さ指数が低いからといって、安心できるものではありません。気温や活動場所により熱中症対策を講じながら活動をしていきます。他にも対策として、活動ボランティアをお願いすることもございます。その際は、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

暑さ指数 (WBGT) による基準域
危険 31以上
嚴重警戒 28以上 31未満
警戒 25以上 28未満
注意 25未満

<熱中症を防ぐポイント ~熱中症 環境保健マニュアル 2022 より~>

①顔色や汗のかき方を観察します

顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は、深部体温がかなり上昇していると推察できるので、涼しい環境下で休息します。

②適切な飲水行動を学びます

のどの渇きにに応じて適度な飲水ができる（自由飲水）能力をつけます。

③日ごろから暑さに慣れましょう

適度に外遊びをし、暑熱純化（体が暑さに慣れること）を促進させましょう。

④服装を選びましょう

熱放散を促進する適切な服装を選択し、環境条件に応じて衣服の着脱をしていきましょう。